

## 4 費目別指数の動き

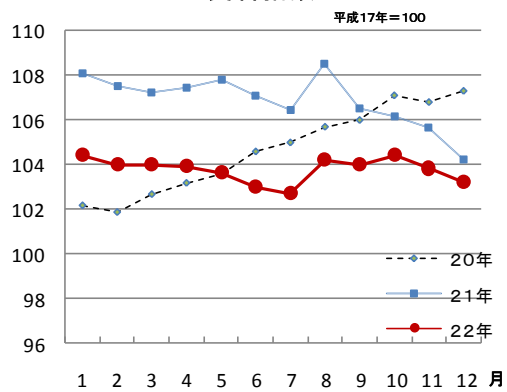
### (1) 食料

年平均指数は103.8となり、前年に比べ2.9%の下落となった。

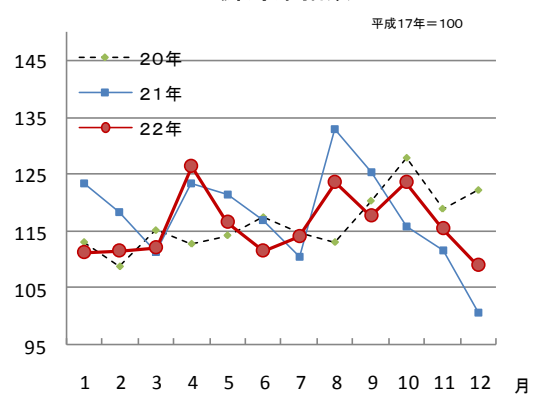
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が8.5%の下落、生鮮野菜が1.3%の下落、生鮮果物が0.2%の下落となり、生鮮食品全体では3.4%の下落となった。

生鮮食品以外では、調理食品は4.7%の下落、穀類は3.8%の下落、菓子類は3.3%の下落、肉類は3.6%の下落、飲料は4.3%の下落、酒類は3.1%の下落、乳卵類は3.8%の下落、油脂・調味料は1.4%の下落、外食は0.2%の下落となった。

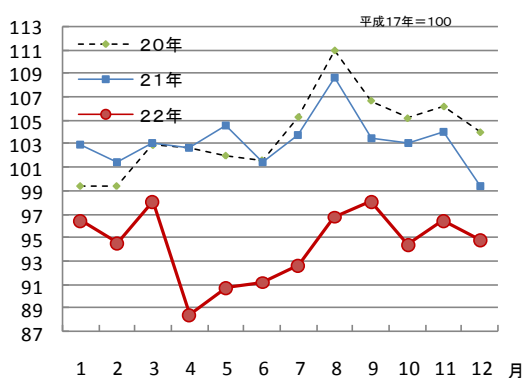
#### 食料指数



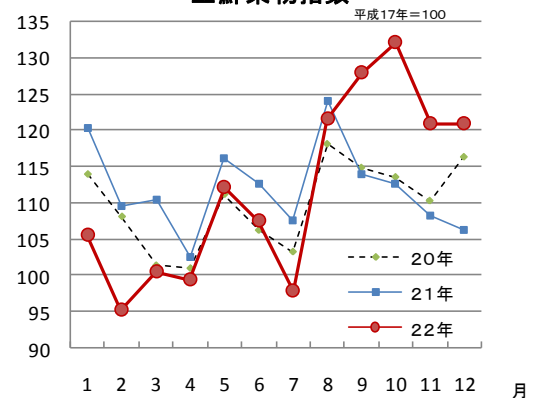
#### 生鮮野菜指数



#### 生鮮魚介指数

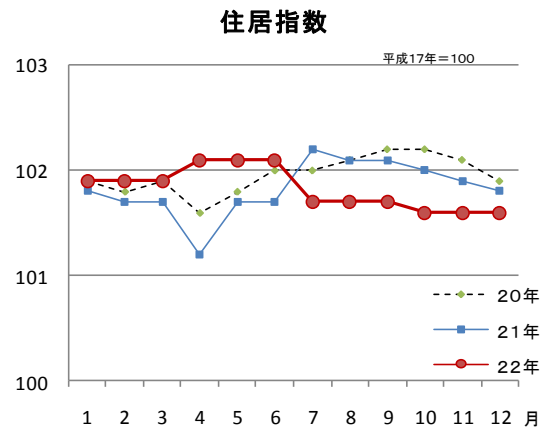


#### 生鮮果物指数



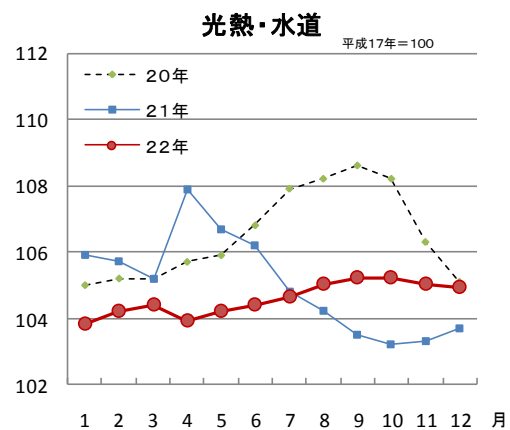
## (2) 住居

年平均指数は101.8となり、前年と同水準となった。内訳をみると、設備修繕・維持は2.0%の下落となった。一方、家賃は0.2%の上昇となった。



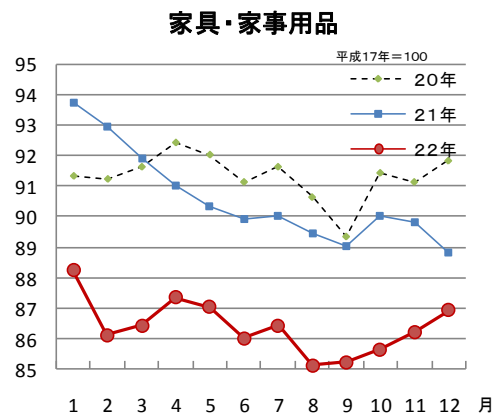
## (3) 光熱・水道

年平均指数は104.6となり、前年に比べ0.4%の下落となった。内訳をみると、電気代は2.8%の下落、ガス代は0.4%の下落となった。一方、他の光熱は14.5%の上昇、上下水道料は0.8%の上昇となった。



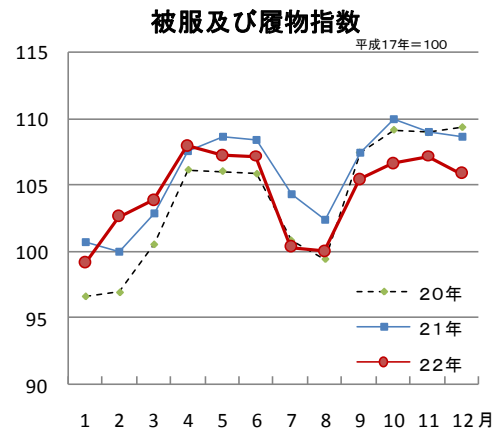
## (4) 家具・家事用品

年平均指数は86.4となり、前年に比べ4.6%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は11.6%の下落、家事用消耗品は4.7%の下落、寝具類は4.5%の下落、室内装備品は3.4%の下落、家事雑貨は0.5%の下落となった。なお、家事サービスは前年と同水準となった。



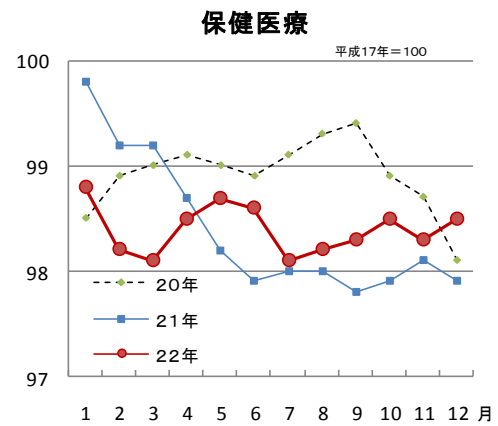
### (5) 被服及び履物

年平均指数は104.4となり、前年に比べ1.3%の下落となった。内訳をみると、衣料は1.8%の下落、他の被服類は3.1%の下落、履物類は1.4%の下落、シャツ・セーター・下着類は0.3%の下落となった。なお、被服関連サービスは前年と同水準となった。



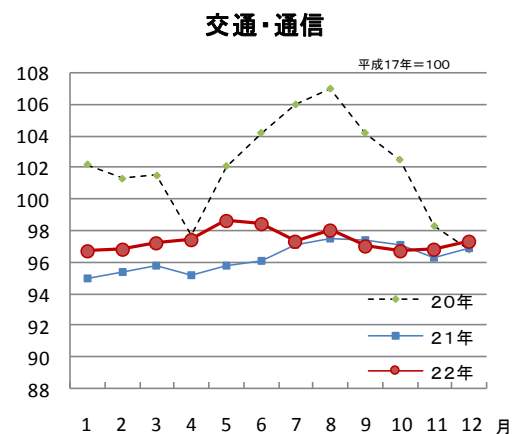
### (6) 保健医療

年平均指数は98.4となり、前年と同水準となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は2.9%の下落、保健医療用品・器具は1.7%の下落となった。一方、保健医療サービスは1.5%の上昇となった。



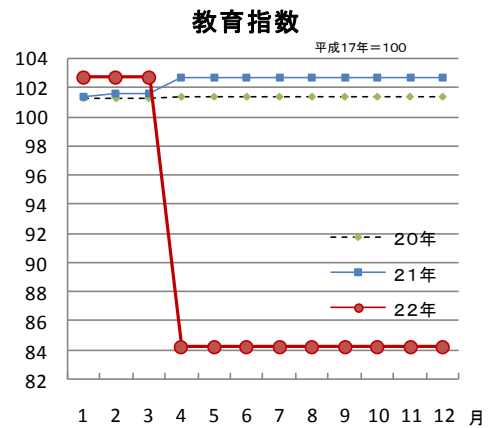
### (7) 交通・通信

年平均指数は97.4となり、前年に比べ1.2%の上昇となった。内訳をみると、自動車等関係費は3.1%の上昇となった。一方、交通は2.1%の下落、通信は0.6%の下落となった。



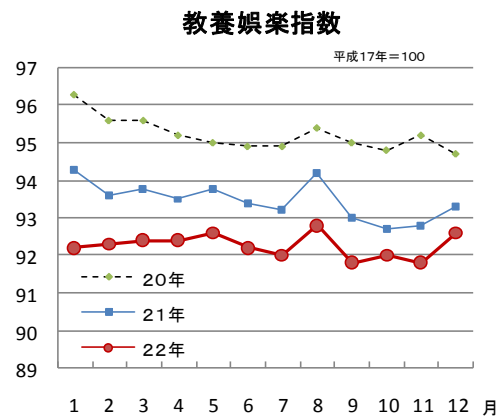
### (8) 教育

年平均指数は 88.8 となり、前年に比べ 13.3% の下落となった。内訳をみると、授業料等は 18.2% の下落となった。一方、補習教育は 1.0% の上昇、教科書・学習参考教材は 0.8% の上昇となった。



### (9) 教養娯楽

年平均指数は 92.3 となり、前年に比べ 1.3% の下落となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は 20.6% の下落、教養娯楽用品は 1.8% の下落、教養娯楽サービスは 0.3% の下落となった。一方、書籍・他の印刷物は 0.2% の上昇となった。



### (10) 諸雑費

年平均指数は 101.8 となり、前年に比べ 1.7% の上昇となった。内訳をみると、たばこは 9.6% の上昇、他の諸雑費は 2.2% の上昇となった。一方、身の回り用品は 2.4% の下落、理美容用品は 0.4% の下落となった。なお、理美容サービスは前年と同水準となった。

